

第17回自然薯祭り  
Zガンダムも食べたそう

12月6日 道の駅「久米の里」

初冬の味覚を代表する自然薯。久米地域産の自然薯を買い求めるために、オープンと同時に長い列ができました。訪れた人は、大きさや値段の異なるたくさんの自然薯の中から「お歳暮用に」「自家用に」と品定めをしていました。

購入後は麦とろ飯と山かけうどんの販売テントにも長蛇の列ができました。粘りの強い自然薯を使った麦とろ飯は格別。Zガンダムも食べたそうに高所から静かに見つめていましたよ。



ミュージカル「銀河鉄道の夜」(津山編)  
待望の本公演で拍手の嵐

11月22日 勝北文化センター

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』をモチーフに、吉井川のごんご(かっぱ)、鶴山公園、スローライフ列車が止まる因美線の駅などを織り交ぜた郷土色あふれる市民ミュージカルの本公演が上演されました。

構想から3年の歳月をかけた舞台は、美しい星々に彩られ、オーケストラの生演奏や力強い歌声が響き渡りました。完成されたすばらしい舞台に、約350人の観客は強く魅了され、最後は割れんばかりの拍手喝采を送っていました。

第27回津山第九演奏会  
感動渦巻く大合唱

12月6日 津山文化センター

師走恒例の津山第九演奏会が開かれ、ベートーベン作曲の交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付」が会場に響き渡り、約700人の聴衆を魅了しました。

オーケストラは平成20年結成された市民オーケストラ「津山交響楽団」。合唱団は公募で集まった中学1年から78歳までの100人による「津山第九合唱団」。クライマックスでは4人のソリストと市民合唱団が力強く『歓喜の歌』を熱唱。会場に大合唱が響き、聴衆から大きな拍手が送られました。



人権を考える市民のつどい  
考える機会を与えた多彩な催し

12月5日 リージョンセンター

人権週間(12月4~10日)期間中の5日、約200人が参加して開催されました。約5,300作品もの応募があった人権に関するメッセージとポスターの優秀者19人の表彰、岡山地方法務局津山支局と津山美作人権擁護委員協議会によるアトラクション、津軽三味線演奏家の高橋祐次郎さんによる「トーク&ライブ」、コリアリポート編集長の辺真一さんによる講演会が行われました。参加者は多彩な催しを通して、改めて人権について考えさせられた様子でした。

アイランド津山オープン

うれしーい! 楽しーい! 初滑り

12月12日 アイランド津山



津山の冬の風物詩となっているアイススケート。アイランド津山オープンの初日、時折小雨が交じる天候にもかかわらず、子どもから高齢者まで、待ちわびた大勢のスケートファンが初滑りを楽しみました。お母さんと友だちと一緒に来場した諫山琴恵さん(鶴山小4年)は「アイススケートは、ほんとうに楽しい」と満面の笑みで答えてくれました。

アイランド津山は県北唯一のアイススケート場で、屋外のものとしては西日本最大級(1,830㎡、1周182m)。開放感があり、景色も楽しめます。また、夕方になると照明がつけられ、仕事帰りに滑ることもできます。運動不足になりがちな冬、あなたも滑ってみませんか。

第4回作州津山ふるさと交流物産展  
各地域の特産品がどっさり

11月22~23日 地域交流センター

今年も市内各地域の特産品や工芸品を一堂に集めて販売する作州津山ふるさと交流物産展「きんちゃい みんちゃい 作州とくとく市」が開かれ、大勢の人でにぎわいました。

会場では地域別のコーナーで自慢の品を販売。また、きんちゃい座による地産地消と環境問題をテーマにした劇や餅投げなどのイベントも行われました。会場を笑顔で後にする人々の手には品物が詰まった袋が握られていました。



中世山城 医王山城 探検!  
遺構と眺望を満喫

11月22日 医王山城跡(吉見)

今年の秋開催される国民文化祭『中世山城の祭典』をより身近なものに感じてもらうために開催され、市内外から約120人が参加しました。

ふもとから約30分で標高343mの本丸跡に到着すると、眼下に加茂川や街道などが一望に広がり、気分はまさに城主。医王山城跡保存会のメンバーから毛利方と宇喜多・秀吉方との合戦物語を聞いたり、石垣などの遺構や景色を眺めたりと、参加者は中世の山城の魅力に触れることができました。

